

第 27 回 学校対抗英語ディベート大会

1. 日 時： 2021年（令和2年）2月2日（火） 14：20～16：10
 2月4日（木） 14：20～16：10
 2月5日（金） 14：20～16：10
2. 参加校： 兵庫県立尼崎小田高等学校 国際探求学科2年生（38名）
 兵庫県立姫路飾西高等学校 普通科国際文科系コース2年生
 兵庫県立加古川西高等学校 普通科国際市民類型2年生
3. 場 所： 本校 LL 教室、視聴覚室 ※オンライン形式
4. 日 程： 2月2日（火） 本校と姫路飾西高校
 2月4日（木） 姫路飾西高校と加古川西高校
 2月5日（金） 本校と加古川西高校

14：20	第1試合	および	生徒交流
15：10	入れ替え		
15：20	第2試合	および	生徒交流
16：10	終了、解散		

5. 討議論題： The Japanese Government should ban production and sales of fossil-fueled cars, including hybrid cars, by 2035.
 「日本政府は、（ハイブリッド車も含む）化石燃料車の製造と販売 を 2035 年までに禁止すべきである。」（第14回兵庫県高校生英語ディベートコンテストと同一論題）
6. 実施要領：

（1）試合時間

順番	内容	時間
1	Affirmative Constructive Speech（肯定側立論）	4分
	Strategy Time（作戦タイム）	1分
2	Negative Cross Examination（否定側尋問）	3分
	Strategy Time（作戦タイム）	1分
3	Negative Constructive Speech（否定側立論）	4分
	Strategy Time（作戦タイム）	1分
4	Affirmative Cross Examination（肯定側尋問）	3分
	Strategy Time（作戦タイム）	2分
5	Negative Attack Speech（否定側アタック）	2.5分
6	Affirmative Attack Speech（肯定側アタック）	2.5分
	Strategy Time（作戦タイム）	2分
7	Affirmative Defense Speech（肯定側ディフェンス）	2分
8	Negative Defense Speech（否定側ディフェンス）	2分
	Preparation Time（準備タイム）	2分
9	Affirmative Summary Speech（肯定側まとめ）	2.5分
10	Negative Summary Speech（否定側まとめ）	2.5分
	Judgment（審査）	
合計		37分

(2) 出場人数

- ①各高校より原則 40 名（1 クラスの全員）が参加する。
- ②1 クラスの全員が参加する場合、1 チーム 4～5 名とする。
- ③帰国子女は各チーム 1 名のみの出場を認める。
- ④3 校から合計 24 チームが出場、計 12 試合を 6 会場で 2 回に分けて実施する。

(3) 司会・審査・組み合わせ

- ①司会は会場校の 3 年生が 1 名で担当する。
- ②審査は各校の J T E、A L T の計 2 名で担当する。
- ③勝敗は審査員の得点で決定する。
- ④試合会場および組み合わせは別紙一覧表に掲示する。

(4) 実施細則

- ①Constructive Speech（立論）は 1 名以上で実施。
制限時間（4 分）をこえても発言は継続できるが 4 分 15 秒で発言を制止する。
- ②Cross-Examination（尋問）は 3 人以上で実施すること。
2 人以下の場合は 3 点を減点する。制限時間を超えて発言できない。
- ③Attack Speeches（反駁）は、3 人以上で実施すること。
2 人以下の場合は 3 点を減点する。制限時間を超えて発言できない。
- ④Defense Speeches（防御）
- ⑤Summary Speech（まとめ）制限時間 2.5 分を超えて発言できない。
- ⑥審査基準については、別紙審査用紙の「審査基準」及び「その他の注意事項」に準ずる。

(5) 運営

各校生徒が以下の仕事を分担し、各会場の運営を行う。

- ①計時係（会場校 6 名）
- ②受付係（会場校生徒が受付および誘導）

【参加生徒アンケート(尼崎小田)】

- ・初めて会う人を相手に聞く立論なので少し緊張していましたが、案外、質疑やアタックなども自分なりにできたので、今までの成果が出たのかなと思いました。
- ・日本語でも難しいような立論を、英語で反駁できたのはすごくよかったなと思った。相手の立論をしっかり聞いたのもよかった。
- ・互いの立論をしっかりと理解した上で、いろんな論点で話し合えてとても充実した時間を過ごせた。
- ・ずっと練習していた分、聞き取れるか心配な部分もありましたが、質疑などが思いつくようになっただけでも、最初よりできている実感が湧いて、嬉しかったです。
- ・立論がわからなかったらどうしようと不安があつて怖かったけど、クロスの準備とか、変かなと思う文章でもとりあえず言うてみる事ができた。自分から英語を話すのは好きじゃなかったけど、多少できるようになった気がします。



【大会結果】

10 月から国際探求Ⅱで取り組んだ英語ディベート学習の成果として、全員参加の学校交流英語ディベート大会に参加した。今年度は本校が基幹校となり、3 日間に分散してオンライン形式で開催した。本校は肯定 4 チーム、否定 4 チームに分かれて全 8 試合を行った。各校ともよく準備されており、レベルの高い大会となった。次年度は姫路飾西高校で実施予定。